

# TOMIYA UNESCO NEWS LETTER

令和6年度 第3号 ユネスコ企画部発行 2024年12月



## 令和6年度 T-time 2年生 課題研究

「T-time」とは、富谷高校が独自に行う課題探究型の学習活動です。9月から2年生の課題研究が本格的にスタートしました。それに伴い、様々な外部講師を招いて学ぶ機会を設けています。

### 9月26日(木) 2学年 課題研究基本講演

2年生がこれから課題研究を始めるにあたり、「研究」とは何かの基本を学ぶため、宮城大学事業構想学群講師高山純人先生をお招きして、講演会を開催しました。高校生の普段の「学習」「勉強」とは異なる次元にある「研究」とは何か、その意味や方法を知り、さらに「地域についての課題研究」に必要な学問的素養を高める機会となりました。



### 10月1日(火) 2学年 富谷市講演会

課題研究は富谷市に関するものになります。そこで富谷市の現状や課題を学ぶため、富谷市長若生裕俊様をお招きして講演会を開催しました。「住みたくなるまち日本一の実現に向けて」をテーマにした講演を拝聴することで、これから自分たちが行う課題研究のテーマ設定に対する知見を得ることができました。



### 11月7日(木) 富谷市職員による指導・助言

この日は市役所職員の方をお招きし、富谷市の現状と課題について講話をいただきました。富谷市に関する理解を深め、また自分たちの課題研究に対して職員の皆さんから直接的な指導、助言をいただき、今後の課題研究の一助とすることができました。



### 11月14日(木) 研究企画発表会&大学模擬授業

各チームが研究企画書の発表を行いました。その際、宮城県内外の大学から講師の先生をお招きし、各チームの発表について研究テーマの設定や研究手法、研究の方向性などに関する助言をいただくことができました。

また、その後には講師の先生方による専門分野の研究に関する模擬授業が行われ、生徒たちはさらに深い理解を得ることができました。これらの活動を通じて、実践的な知識や視点を身につけ、地域社会の課題解決に向けた意識が高まりました。今後、いただいた助言を参考に研究を進め、より具体的な解決策を導き出すことを目指します。



# 「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」

本校はユネスコスクール活動の一環として、株式会社ファーストリテイリング主催の「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加しています。ファーストリテイリングが UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）と連携して行う小・中・高校生を対象とした参加型の学習プログラムです。難民の子どもたちへの支援として着なくなった子ども服を回収し届けることで、SDGs12「つかう責任・つくる責任」への貢献を目指しています。

12 つくる責任  
つかう責任



8月31日（土）の樹咲祭では、ユネスコ委員がプロジェクトの一環として子ども服の寄付を募り、多くの来場者から子ども服の寄付をいただきました。遠方から足を運んでくださった方々も多く、学校の取り組みに多くの関心を寄せていただいたことを感じました。樹咲祭に先立ち、8月27日（火）には本校ユネスコ委員がミヤギテレビの人気番組『Oh!バンデス』に出演し、このプロジェクトを広く告知しました。その結果、樹咲祭当日には校外の方々からも子ども服の寄付をいただくことができました。



また、成田東小学校にも協力を仰いで、多くの寄付をいただくことができました。1年生のユネスコ委員を中心に仕分け作業を行い、無事に全て発送しました。



寄付いただいた服は、今後世界中の子どもたちの元へ届けられます。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。引き続き、この取り組みにご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。